



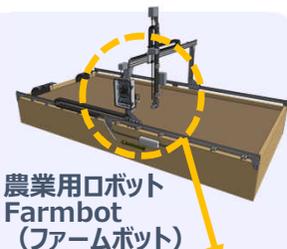
スマート市民農園×STEAM教育による地域に根付くアグリテックの担い手育成事業

事業期間：令和2年～令和6年
事業費：1億3千万円（5年間）

農業分野のデジタル人材育成を目指して、3つの事業を実施

①スマート市民農園事業

身体が自由に動かない人や移動が困難な人でも、**遠隔操作**で市民農園にあるロボットを操作して**野菜が栽培**できるよう、ハード・OS共オープンソースである農業用ロボット「**Farmbot(ファームボット)**」を活用して「スマート市民農園」の実証を実施



農業用ロボット Farmbot (ファームボット)



水やりの様子

②農業版STEAM教育事業

小学生親子等を対象に、ファームボットを活用して**野菜を育てながらデジタル技術を学ぶ**ことができる「農業版STEAM教育」のカリキュラムを作成し、実証を実施



アグリテック甲子園2021 R4.1.30開催 @アグリエひめじ



③アグリテック甲子園事業

全国の高校・大学等の学生を対象に、**アグリテックのアイデアやビジネスモデル**を競う大会を開催（R3年度はハイブリッド方式で開催）

※大会の様子等は、公式HPで公開しています。<https://agritech-koshien.com/>



大スクリーンで企業版ふるさと納税をいただいた企業をPR

「アグリテック甲子園2022」は令和5年1月22日に開催予定！ → 会場内展示ブースでの企業PRや、企業賞の提供（審査員として参加）のほか、スマート市民農園事業や農業版STEAM教育事業へのご支援など、**農業分野のデジタル人材の育成に参加して下さる企業様を求めています。**

こころとからだを農業を元気にする「ハーブの里山プロジェクト」

事業期間：令和元年～令和5年
事業費：約2億円（5年間）

姫路市北部産のカモミール等を活用し、地域活性化を目指す事業を実施



ハーバルワーケーションの開発

市北部産のカモミールや書写山園教寺等の資源を活かしたコンテンツの開発
→将来的にはコワーキングスペースやサテライトオフィスの設置につなげる

新規就農者の育成

本格的な農業にチャレンジすることができる講習付き区画を備えた「林田チャレンジ農園」の運営



カモミール自動収穫ロボットの開発

・兵庫県立大学と連携し、手摘みによるカモミール収穫作業のブレークスルーを目指す
・地域未来牽引企業 香寺ハーブ・ガーデンや地域と連携し、生産から加工までの6次産業化
→カモミールで日本一の産地へ！

ハーバルワーケーション事業に参画して下さる企業様や、カモミール自動収穫ロボットの開発へ資金的・技術的支援をくださる企業様を求めています。

【お問い合わせはお気軽に♪】

姫路市役所 産業局 農政総務課

電話 079-221-2476 メール noseisomu@city.himeji.lg.jp